



## 予選 2nd / 決勝 2nd

第5戦のもてぎ大会はST-3クラス不参加のため約3か月のインターバルを経て、岡山大会を迎えました。ランキングはトップ、75Kgのウェイトを積んで参戦になります。ここまで2番手とのポイント差は17と僅差。シリーズチャンピオン獲得に向け落とせない大会です。

結果は予選2位、決勝2位。  
決勝ではアクシデントもありましたが、確実に結果を出すことができました。たくさんの応援、ありがとうございました。



予選はドライ。Aドライバー服部選手2位、Bドライバー吉田選手1位。合算タイムは、ライバルと0.0.2秒差になり2位。決勝はフロントローからスタートです。Cドライバーである自分の予選走行は、ユーズドタイヤで決勝に向けた調整を行いました。

岡山のコースは広くないため、決勝は午前・午後の2グループ制。ST-3クラスはグループ2、午前の開催です。スタートは吉田選手。フォーメーションラップ中に他車の単独クラッシュがあり、この回収後にスタート。序盤、後続車と接触があり緊急ピットイン。車両に不具合はなくタイヤ交換と服部選手への交代でコースに復帰。しかし、ドライバー表示の変更ができていなかったため再びピットイン。ちょうどSCが入ったことで不利にはならず、一旦トップに立ちます。が、徐々に75kgのウェイトが効いてポジションダウンし、3回目のピットイン。



ここでドライバー交代を受け、最終スティントを担当。交代後は完走に向け、タイヤや燃料を調整しながら走行。トップの#63がピットアウトした時には、#63のマシンが見える位置まで追い上げていました。残り10分のタイミングで、トップとの差は1.6秒。ここから猛追して0.6秒差まで迫るも、一步届かず2位でチェッカーを受けました。接触やピットの回数を考えれば上々の結果ですが、あと少し届かず悔しくもあります。一方でチャンピオンシップを思うと、今大会でポイントを獲得できたことは大きく、ランキング2位の#39とは20ポイント差に拡大。トップで最終戦の鈴鹿大会に挑みます。

目先の勝ち負けではなく、堅実に結果を出すことができました。次は最終戦10/15-16、第7戦の鈴鹿大会です。引き続きご支援のほど、よろしくお願いいたします。